

認知症作業療法 活動報告（概要）

鹿児島県作業療法士会の地域リハ推進部には**2014**年より「かごしま認知症**OT**ネットワーク」という下部組織が配置されており、約**20**名のネットワーク員とともに認知症に関する研修会の実施や地域での催し物への参加などを行ってきました。**2018**年の活動内容としては①認知症アップデート研修と実践研修（**12**月）を**1**地区で開催、②生協コープかごしまからの認知症対策に関する依頼などが挙げられます。

認知症アップデート研修事業

かごしま認知症**OT**ネットワーク員でキャラバンメイトの部員に講師をしてもらい、認知症サポーター講座の内容を付け加えアップデート研修を実施。終了証に加え、オレンジリングの配布を行いました。また、本年より離島をインターネット中継にて鹿児島市内の会場と結び研修の共有を図りました。参加人数は**78**名。内、離島が**32**名となっています。

アンケートの結果としては、「実例や集団の取り組みなどアプローチの情報が欲しい」などの意見が多く聞かれました。

今後の取り組みとして、実践編を予定しています。実践編では、講義に加えディスカッションを主体として、自分達で課題を抽出するとともに参加者個々の能力を発揮してもらい解決の糸口を探ることを目的として実施致します。



生協コープかごしまへの協力事業

生協コープかごしまより、「認知症に負けない暮らし（健康）づくり」とのタイトルで、鹿児島大学保健学科と鹿児島県作業療法士協会が提携し取り組みを行いました。

県士会では、衰えに対してのリハビリテーションとしての啓発パンフレット（ヒント集）を作成。今後、認知症への「心配」を緩和するような学習会や相談会の開催を予定し、ヒント集に基づく習慣化の状況や、生活の様子を交流し励ましの合う場を協力して実施する予定です。



今後の展開

- ・ 認知症アップデート研修事業の継続
- ・ 生協コープかごしま協力事業の拡大